

ふる里物語

村史編さんだより

夢を実現する あゆみ

〈近代史分野から〉

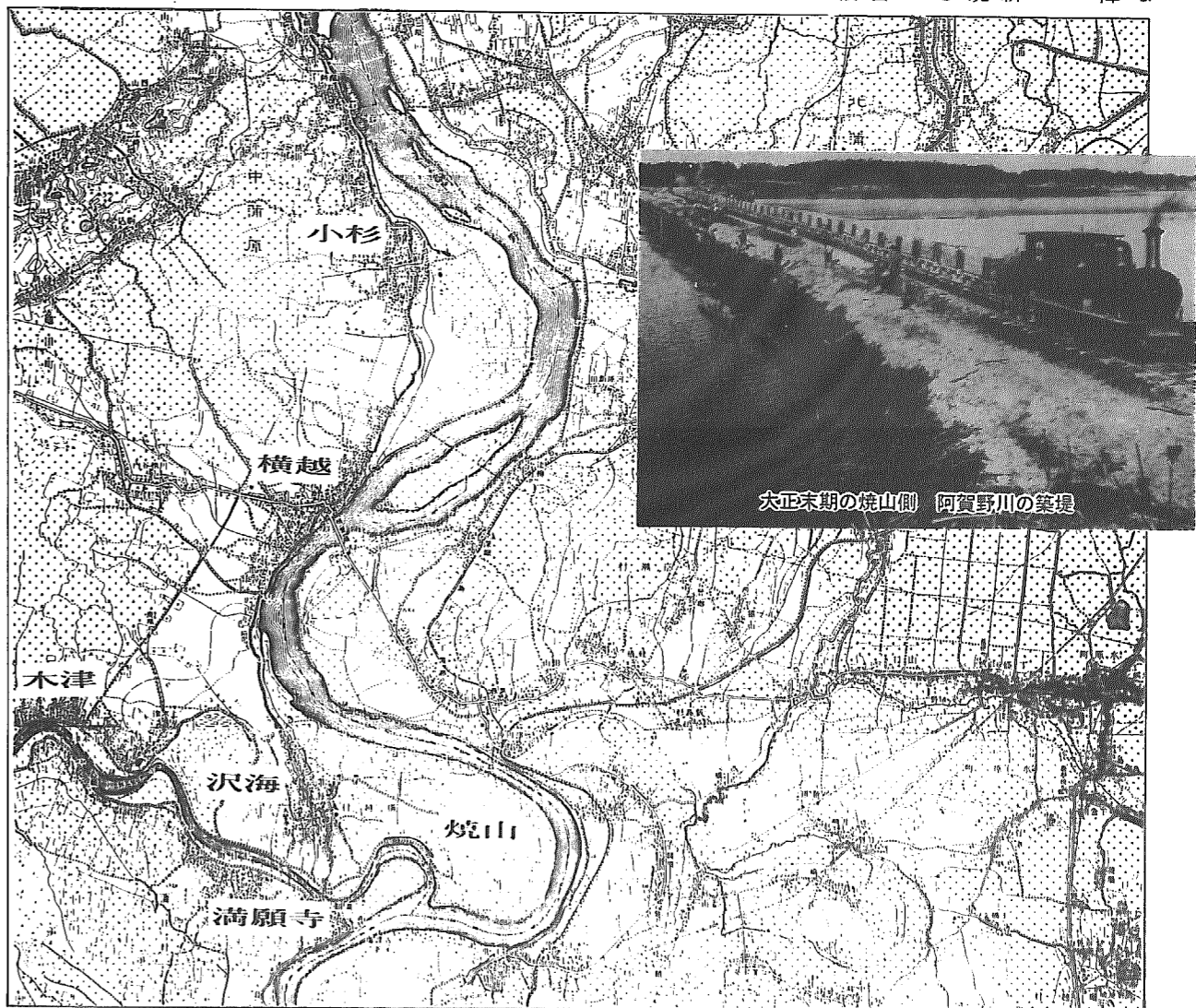
明治時代の地図で横越村の周辺を見ると、入り乱れた小径と水田が一面に広がっている様子が分かります。次に目を引かれるのは、阿賀野川の流路が大きく蛇行し、沢海の東方には凡そ一・五kmも河川敷が広がり、その大半が桑畑で占められていることです。阿賀野川の分流利口も大きく北側に蛇行しています。集落の分布では、川根谷内は横越とは隔たった集落だったとはっきりと教えてくれます。昔の地図はその時代の地域の様子をかなり細かく正確に再現できる貴重な史料です。

に渡らなければ耕作できなくなる苦痛を訴え、その損害を保障してもらおうとしたのです。
 (伊藤惣衛氏所蔵史料)

昭和時代の地図を見ると、新しい阿賀野川の流路は沢海と焼山側に造られた堤防の間に移され、古い流路は分断され残っています。実に驚くほど大きな自然改造であり、付近の住民も犠牲に耐えて協力したものと想像され、工事の反対など史料はありませんでした。阿賀野川改修は満願寺水門の構築により小阿賀野川の洪水を防ぎ、同時に進行していた信濃川の改修とともに亀田郷を水害の苦難から解放する最大の効果をもたらしました。「水害のない村」という夢の実現に大きく踏み出しました。それと一体となっていた大きな夢は「豊かな農業・豊かな生活」だったに違いありません。その実現に向けて、村全体が協力して取り組んだのが土地改良事業と農地改革だったと思います。これらはいずれも第二次大戦後に行われましたが、土地改良事業は亀田郷全域事業として戦時中から始められていたものです。

これによって、生産高も収入も増えました。

(近代部会 大塚 哲)



国土地理院発行2万5千分の1地形図「水原」「新津」をもとに転載(明治44年測図)

文芸欄

俳句

(公募作品高句者)

句題 雷・夏の朝・冷酒

- 山の雷牛ゆっくりと立ちあがる (二本木) 小林 千恵子
- 遠雷の片隅にある漁師町 (二本木) 小林 竹生
- 駅前裸婦像洗い雷雨去る (横越) 神田 斗子
- 冷酒を呷る土工の力縮 (横越) 細山 芳洲子
- 大阿賀の流れすがしき夏の朝 (木津) 今井 夫子
- 雷秘めて五頭に湧き立つ白い雲 (二本木) 小林 千恵子
- 遠雷や病後の妻の伏寝癖 (木津) 坪谷 いわお
- 夏の朝尾を振る鳥が庭歩く (二本木) 小林 千恵子
- 激雷のなか金箔の霊柩車 (横越) 谷井 野武士
- 山頂にまずは冷酒回し呑む (二本木) 大竹 美砂

道路に面した 樹木の 整枝・せん定について

道路に面した宅地内にある樹木の枝等が伸びて、道路を通行する自動車、自転車等に大変迷惑をかけている場合がありますので、皆さんの宅地で道路に面している樹木の枝等について各自で整枝をして、車の通行等に支障のないよう御協力をお願いします。

建設企業課

平成8年度体協 表彰推薦受付

村体育協会では、平成8年度体協表彰者の推薦を受け付けています。栄章の区分は次のとおりです。

- 一、体育功労者章
満四十歳以上で村体育界に特別な功労のあった者
- 二、優秀指導者章
永年にわたり、各種団体の指導または県大会優勝や全国大会出場選手の育成指導に顕著な業績のあった者
- 三、優秀競技者章
村民若しくは村内の事業所に勤務する者で、競技者として県大会優勝や全国大会出場、またはこれに準ずる優秀な成績あげた者

○推薦は自薦他薦を問いません。用紙は総合体育館内、体育協会事務局にあります。
 ○推薦締切 9月20日(必着)
 優勝 スポ少ラガーズ
 準優勝 ニュータウン

稲わら等の秋すき込みのすすめ

土づくりは農作物の栽培の基本ですが、水田における用排水施設の整備等により乾田化が進み、土壌の有機物の減少が進んだため、有機物の補給が必要となります。



稲わらのすき込みと堆肥の比較試験を行った結果は、同等の生育・収量が得られました。また、すき込み時期は地温の高い十月中旬までが好ましいとされています。

稲わらの焼却の弊害

近年稲わらの焼却が生活環境に及ぼす影響が指摘されています。稲わらの焼却により発生する煙で、目の痛みや交通に支障を及ぼすこともあることから、年々苦情が多くなっています。また、健康被害等についても各

分野で指摘されつつあります。かつては純農村であった横越村も今では住宅団地の造成により、急速に都市化しつつあります。快適な住環境を守るために稲わらは焼却せずに土づくりに有効利用しましょう。